

「Present Tree in 能登金蔵」森林整備に係る協定の締結

輪島市町野町金蔵地内で“復興”の森づくりを進めていくため、「Present Tree in 能登金蔵」森林整備に係る協定を下記のとおり締結しました。

本協定は、国内 60 カ所目、本県では初めての取り組みとなり、手入れがなされていない牧草地跡の森林にコナラ等を植栽し、以後 10 年間、地元と交流しながら育てていくこととしています。

記

- 1 日 時 令和 7 年 5 月 23 日（金） 11:00～11:30
- 2 場 所 石川県奥能登農林総合事務所 43 会議室
- 3 出席者（協定締結者 ※敬称略）
 - ・認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所 理事長 鈴木敦子（事業主体）
 - ・金蔵共有山林管理会 委員長 井池光信（森林所有者）
 - ・石川県森林整備協同組合 理事長 水上正敏（施業受託者）
 - ・石川県山林協会 専務理事 坂口浩一郎（連絡調整者）
 - ・石川県奥能登農林総合事務所 所長 葛城正浩（立会人）

○「Present Tree in 能登金蔵」の概要

Present Tree は、認定 NPO 法人環境リレーションズ研究所（東京都）が運営する森林再生と地域振興を目指すプロジェクトで、これまでに国内 59 カ所、国外 2 カ所で延べ約 42 万本の植栽を行ってきました。

「Present Tree in 能登金蔵」では、金蔵地内の約 2ha の森林（牧草地跡）において、奥能登で盛んなシイタケ栽培や炭の原木となるコナラやクヌギを植栽し 10 年間育林していくことで、自然の森に戻していくとともに、地域との交流や賑わいを取り戻していく活動を進めていきます。

なお、同研究所から県森林整備協同組合が施業を受託し、森林整備を行っていくこととしています。

<https://blog.presenttree.jp/2025/05/22/15899/>



協定を締結した（右から）葛城所長、水上理事長、鈴木理事長、井池委員長、坂口専務理事